

クイズ：火星が大きく見える夜がある。その理由は・・・



- 1. 地球も火星も公転
- 2. 地球も火星も自転
- 3. きのせい

# S.P.V つうしん

スペースパークボランティアの会

郡山市ふれあい科学館 スペースパークボランティアの会 会誌

第 69 号 2023 年（令和 5 年）2 月 発行

福島県郡山市駅前 2-11-1 郡山市ふれあい科学館内 TEL 024-936-0201



SPV ホームページ



## ★『火星観望会』を盛況に開催！

2022 年 12 月 3 日（土）、富久山町の平成記念郡山こどものもり公園で**火星観望会**を開催しました。12 月 1 日が火星最接近、その直後で大きな火星が観られることが期待されます。観望会当日は昼に小雨が降り曇りがちで開催が危ぶまれましたが、夜には雲が切れ、気温は低かったものの絶好の観望会日和になりました。4 台の天体望遠鏡を火星、木星、土星、月にそれぞれ向け、参加者の皆さんに観て頂きました。

注目の火星は高度が低く、シーイング（大気の揺らぎ）の影響を受けましたが、ばっちり大きな火星を観察でき、参加者からは「こんなに大きく見えるのすごい」など感動して頂きました。火星のほかにも、「木星とガリレオ衛星」「土星のリング」「月のクレータ」「夏の大三角・秋の四辺形などの星座」も見て頂きました。参加者の中には興味を持ち質問される方や、何度も並び直し観ていかれる方もいらっしゃいました。

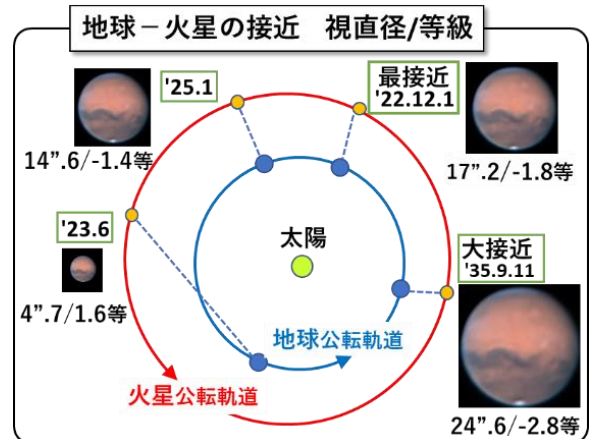
今回の参加者数はなんと 110 名、今年一番の人数でした。寒い中、長時間の観望会で身体は冷え切ってしまいましたが、感動を伝え、感謝の言葉を頂き、ボランティアとしてやりがいを感じると共に心温まる時間でした。（天文グループ・石井）

### Q) 火星最接近は、なぜ起こるのか？

地球も火星も、いわゆる惑星として太陽のまわりをぐるぐるまわっており（用語：公転）、地球に近づき大きく見える時があれば、地球からはなれて小さく見える時もあります。ちなみに地球は太陽のまわりをほぼ真円でまわる一方、火星は楕円軌道でまわっており、もっとも近づく**大接近**もあります。

ちなみに、地球は太陽を約 365 日で一周するのに対し、火星は約 687 日。火星最接近は約 780 日周期で起こります。次の最接近は 2025 年 1 月 12 日、その次は 2027 年 2 月 20 日。だいぶ先ですが、2035 年 9 月 11 日は特に大きな火星がみられ、2287 年 8 月 29 日はこの数百年でベスト 1 の大きさだそうです。

クイズのこたえ：1. 地球も火星も公転してるから！



図中の写真：国立天文台



## ★『皆既月食観望会』も大盛況に開催！

2022 年の天文現象といえば、**皆既月食**も忘れてはなりません。2022 年 11 月 8 日、ご覧になった方も多いのではないのでしょうか。我々ボランティア会天文グループも科学館の天

文チームに同行し、開成山公園での観望会に5名で参加しました。

今回は事前申し込み制、9組27名の親子の参加がありました。ミュージカルがくと館での学習会に続いて屋外に移動。18時9分に部分食がはじまり、徐々に月が欠け、19時16分に皆既食。なんと不思議な感じの赤銅色の月を、皆さん双眼鏡で見入っていました。自作の望遠鏡を持ってきた方もいて、関心の高さを感じました。

その後、館内に戻り国立天文台の月食と天王星食の実況を見ながら、順番に15cm望遠鏡で拡大された月の様子を観測しました。視野全体に広がった皆既食の月は双眼鏡とは違って迫力があり「ワオー」と歓声が上がっていました。今回は、雲もなく澄んだ空気の下、充実した観望会となりました。(天文グループ・猪俣)



## ★ 新会員が入りました！

今回は案内グループの新会員4名の紹介です。

小川莉奈：県外の友人がスペースパークを気に入ってくれ、改めて郡山にこんな素晴らしい施設があるんだと気づかされ、市内外の人たちに伝えたくボランティアに入りました。登録前オリエンテーションでボランティア活動の使命感を感じ、それを実現し貢献できるよう頑張りますのでよろしくお願いいたします。

小島善一郎：前勤務先を一昨年秋に退職し、ボランティア活動をしたいと考えていました。30年来の趣味が鉄道写真撮影で、当科学館展望ロビーには鉄道ジオラマのほか、窓越しに鉄道線路や車両が見られることから案内グループを希望しました。活動を開始してまだ間もありませんが、鉄道関係の知識を生かして来館者に路線や車両の説明をしたいと思っています。

坂本與翰：入会前から何度かビッグアイを訪れ、22Fからの展望で郡山市の街並みを眺めたり、プラネタリウムの星とオーロラに心をワクワクさせたことを思い出します。子どもたちの好奇心にあふれたキラキラした目、あっちをみたりこっちをみたりと動き回っている姿をみると、高齢者の一人としてこの素晴らしい施設を広く多くの市民に知ってもらうためのお手伝いできれば、こんな嬉しいことはありません。

吉井真知子：私のまわりにはボランティア活動をして生き生きと輝いている人がたくさんいます。私もこれまで生まれてからずっとお世話になっている大好きな郡山になにかお手伝いできたらいいなと思い参加しました。

### <SPV 最近の活動>

2023年2月4日 福島県都市ボランティア会 (city cast fukushima) 交流会

### <SPV 今後の予定>

3月5日 18-21時 星空案内人(星のソムリエ)シンポジウム 記念 特別駅前観望会 (一般参加可)

3月11日~12日 11-15時 ボランティア DAYS (一般参加型ボランティアまつり、会員向け講演会・総会)



**スペースパークボランティアの会** (SPV: Space Park Volunteer)とは・・・

郡山駅前・ビッグアイにある科学館スペースパーク(郡山市ふれあい科学館)を拠点に活動する、市民たちによるボランティア会です。幅広い年代の約80名の会員が案内・科学・天文の3グループに分かれ、科学館内の展望ロビーや常設カウンター、駅前の星空観望会のほか、市内各地の公民館活動や学校行事、地域イベントなどに出席し、また生涯学習を目指しています。まちづくりハーモニー賞受賞団体、星のソムリエ多数在籍。新会員常時募集中です。各種イベントの出展も承っております。

ボランティアまつり 3月11日(土)、12日(日) 11時~15時 ビッグアイ22階展望ロビーにて、全グループ合同の出し物「ボランティアまつり」を開催します。各種体験あり。

↓↓↓ ボランティアまつりスタンプラリー台紙：全部集めると記念品あり(先着) ↓↓↓

案内

科学

天文